

## 《意外!!!とんでも多い”肝機能異常”》

## ◆”肝機能異常”って多いの....?

日本人間ドック学会による2004年人間ドック集計結果(全対象受診者294万人)について項目別に異常頻度を比較すると、**肝機能異常が25.2%**と最も多く、以下高コレステロール(23.9%)、肥満(21.4%)、高血圧(14.6%)、耐糖能異常(12.2%)と報告されています。

## ◆”肝臓”の働きは....?

肝臓は巨大な**化学工場**です。アルコールをはじめとした様々な毒物や薬剤を**分解**し、いらなくなったものを**排泄**したり、大切なアルブミン(純粋な蛋白)を**合成**したりします。また腸管から吸収された栄養分を全身に送ったり、余分な栄養を蓄えたりしています。その他にも体の調子を一定に保つための様々な働きをしています。また化学反応で生じた熱は**体温**を維持するために用いられています。

## ◆”肝機能異常”の原因は....?

肝機能異常の原因としてまず考えられるのが**脂肪肝**です。従来、脂肪肝は、肥満、糖尿病、飲酒が主な原因でしたが、最近ではそれらがなくても食生活の欧米化、ファーストフード嗜好に伴い急速に増加しています。

今まで脂肪肝そのものはあまり重要視されない傾向にありましたが、最近の研究では、脂肪肝と診断された一部に**非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)**という重篤な経過をとるものがあることが判明して注目を浴びています。

他には肝炎ウイルスやアルコール、薬剤、自己免疫などが原因で肝機能異常をおこすこともあります。

## ◆”非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)”とは....?

お酒をたくさん飲まないにもかかわらず、アルコール性肝障害に似た炎症を伴う脂肪肝のことです。普通の脂肪肝で死亡することはありませんが、NASHは肝硬変や肝癌になることがあり区別する必要があります。肝機能障害の他に糖尿病、肥満、高血圧などがある人は注意をする必要があります。

## ◆”肝機能検査”について....

## □GOT(AST)、GPT(ALT)

肝細胞をはじめ心臓や筋肉にも存在する酵素の一種で、細胞が壊されると血液中に出てきます。両者とも高い場合は、肝炎、脂肪肝、肝硬変、肝癌などが考えられ、GOTだけ高い場合は、心臓や筋肉の病気の可能性がります。

## □γ-GTP

肝臓や胆管に存在する酵素の一種で、ALPなどとともに肝胆道系酵素と呼ばれています。アルコールや薬剤などによる肝障害や胆道系疾患で上昇しますが、アルコール性肝障害で高くなります。高値の場合はアイソザイム検査が必要。

## □ALP

γ-GTPと同様肝胆道系酵素の一種で、様々な肝障害や胆道系疾患で上昇します。また骨、胎盤、小腸にも存在して、ALP高値の場合は分析測定(アイソザイム検査)が必要です。

## □総ビリルビン

肝臓などで生成される物質で、肝障害や胆道系疾患(胆のう炎、胆石症、胆のうがんなど)により上昇し、上昇に伴い黄疸を引き起こします。総ビリルビンが高値の場合は、直接ビリルビンと間接ビリルビンを測定し、どちらが高値を示しているかによって、病態を診断します。

## ◆肝機能異常の”二次検査”は....?

上記のほかにさらに詳しい血液検査や超音波検査・CT検査・肝生検などではっきりと診断をつけ、それぞれの病態にあった適切な治療を行います。

ウイルス性急性肝炎のウイルス別の発症頻度は、およそA型(40%)、B型(25%)、C型(10%)、その他(25%)です。

## □肝炎ウイルス検査

**A型肝炎ウイルス:**生ガキなど貝類による経口感染で発症。慢性化や劇症化は少なく予後良好です。

初期にIgM型HA抗体が上昇します。

**B型肝炎ウイルス:**血液感染により発症し、一部で慢性化・劇症化します。ウイルス保有者は全人口の約1.6%で、また肝炎ウイルスのうち最も劇症化しやすいタイプです。

HBs, HBe, HBcの各抗原・抗体を組み合わせ測定し、肝臓の状態を判定し治療します。

**C型肝炎ウイルス:**多くは輸血などの医療行為で感染し、急性肝炎を起こした後およそ7割が慢性化します。

一般的には初感染から20年以上で肝硬変や肝細胞癌を発症します。

HCV抗体やHCV-RNAを測定、ウイルス量を判定して治療方針を決定します。

## □腹部超音波検査

肝臓の腫大や繊維化、腫瘤性病変の有無、腹水などを確認します。悪性が疑われればCT検査やMRI検査、さらには血管造影、肝生検にて診断を確定し治療方針を決定します。

※医療法人 順秀会 東山内科小児科・東山健康管理センターと スカイル内科・スカイル健康管理センター 及び 星ヶ丘内科・小児科とは、診察時間が異なります。診察時間と各科専門医師の分担当表を裏面に記載してあります。

※24時間対応コンピュータ予約システム(電話・インターネット・携帯電話・i-mode対応)

◆医療法人順秀会homepage; <http://www.junshu.jp>

◆健診結果・医学的内容に関するご質問は; [med@junshu.jp](mailto:med@junshu.jp)

◆メンタルヘルスケア(心の相談窓口)心療内科への相談は; [mind@junshu.jp](mailto:mind@junshu.jp)(新設)

◆検査予約・検査料金や医療事務に関するお問い合わせは; [info@junshu.jp](mailto:info@junshu.jp)